

折田正樹会長 就任のごあいさつ

みんなで岡田博美さんを応援しましょう

この度、「岡田博美を後援する会」の会長をお引き受けさせて頂きました折田正樹です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2001年より4年まで、在英大使として、ロンドンに勤務しておりました。40年間の外交官生活のうち、海外生活が20年でしたが、そのうち英国での勤務は合計で7年間となりました。最初に勤務したところであり、結婚したところでもあるロンドンについては私ども夫婦にとりまして、特別な思いのあるところでもあります。

ロンドンは、世界でも最も多くの音楽家が集まる場所と言われています。コンサート・ホールは幾つもあり、毎晩のように数多くのコンサートが開かれます。ロンドンの聴衆の耳は肥えており、良いコンサートの場合は、聴衆は、終了時に拍手とブラボ-の声で、感情を素直に表現します。また、音楽評論家の数も多く、時には、厳しい批評が紙面に出来ます。世界から集まった音楽家は、恵まれてはいますが、反面では厳しい環境の中で、切磋琢磨をしながら、競い合い、自己の技術、感性を磨き、良い音楽を作り出しています。

岡田博美さんは、20年以上前に、このようなロンドンに居を移されてから、天分を弛みないご努力で磨きながら、ロンドンを中心に、ヨーロッパをはじめ、多くの国でピアノの演奏活動をされています。どの演奏を聴いても、極めて高度の演奏技術を自然な形で表現されており、力強く、華麗、絢爛な演奏部分とやさしく、穏やかで叙情的な演奏部分の対比が印象的で、私のような素人の耳であっても優雅な演奏には実に感動いたします。岡田博美さんの演奏は広く世界でも知られていますが、国際舞台での御活躍振りは、同じ日本人として、嬉しく、頼もしく、また、誇らしい気持ちが致します。

日本にお戻りになられた時の演奏が極めて楽しみです。本年は9月から10月にかけて幾つかの演奏をなさいます。9月16日には、ヴァイオリンの川島成道さんとのデュオ・コンサートをなさいます。私から見ますと、めったに聴く機会のない、ヤナーチェクやメシアン作品の演奏は特に楽しみです。10月7日と8日には新日本フィルとの競演があり、また、21日には、「フランス plus 2006」のコンサートが予定されています。

国際舞台で活躍される岡田博美さんの演奏を「岡田博美を後援する会」の皆様とご一緒に感動し、楽しみながら、応援しようではありませんか。そして、岡田博美さんがさらに大きく伸びて行かれことをお祈りしようではありませんか。

また、これまで発起人、世話人を代表してこの会をまとめてこられた熊谷朝子さま、世話人の方々、会員の皆様がこの会の発展のために続けてこられましたご努力を引き継ぎ、今後とも、皆様方とともに、この会を発展させて行こうではありませんか。

2006年6月

折田 正樹